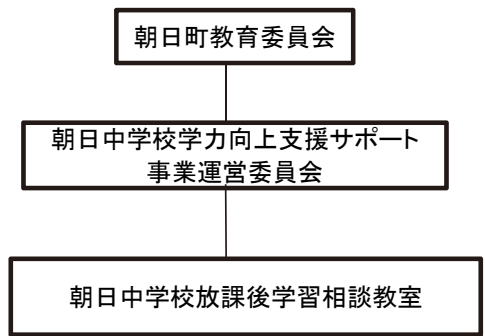


生徒と学習支援員が互いに学び合う場

富山県朝日町	● 活動名	● 関係する学校名
	朝日中学校放課後学習相談教室	朝日町立朝日中学校

開始年度	平成 16 年度	学級数	10 学級	生徒数	264 人
主な実施形式	<input type="checkbox"/> 個別指導 <input type="checkbox"/> 授業形式 <input checked="" type="checkbox"/> 自習 <input type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> その他 ()				平均人数
					生徒の参加人数
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数	地域学校協働活動推進員の数	配置人数	実施場所	施設名：中学校 実施場所：3 学年教室
	0 人		1 人		
ボランティアの数	登録人数		属性		
	0 人				
参考 URL	朝日中学校 HP http://www.asahi-j.tym.ed.jp/torikumi/gakuryokukoujousien/ 朝日町役場 HP http://www.town.asahi.toyama.jp/soshiki/kyoiku/1500516592923.html				

● 体制図



● 連絡先 富山県朝日町教育委員会 ☎ 0765-83-1100

● 活動の概要・経緯

平成 16 年度に文部科学省学力向上支援事業研究協力校として事業を開始し、平成 18 年度からは町指定事業として、平成 28 年度からは地域未来塾として今日まで継続している。

放課後に、学習相談をはじめとした生徒へのきめ細かな指導を一層充実させ、学習上のつますきの解消や学習意欲の向上を図っている。

希望する中学 3 年生を対象に放課後に自主学習形式の学習の場を設け、学習支援員として委嘱している教員志望の大学生が、理解できない課題について生徒に指導助言を行っている。平成 28 年度からは町内外の教員 OB も学習支援員として委嘱している。

地域未来塾

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

部活動を引退した 3 年生の希望者を対象として放課後に自主学習の場を設け、教員志望の大学生や教員 OB が学習支援員として、生徒からの質問に指導・助言を行っている。生徒は疑問を一つ一つ解消しながら自分の立てた計画に基づいて学習を進めることができるため、自分のペースで着実に学力を高めることができる。

事業開始当初から教員を志望する大学生が学習支援に当たっており、複数年に渡って学習支援に携わった学生も少なくない。また、新たに学習支援に加わる学生は、前任者から本事業の概要についてレクチャーを受けている場合が多い。このことは、学習支援にあたる学生たちが本校の生徒の実態を理解し、個に応じた、きめ細かな学習支援を行うことができる要因となっている。また、生徒たちにとっては年齢が近い「先生」であり、些細な躰きも気軽に質問することができることから、学習成果も上がっている。

【実施にあたっての工夫】

学習内容の理解度に個人差の大きい英語・数学の 2 教科を中心に支援している。教科を絞ることで、学生の教材研究に係る負担を軽減するとともに、生徒の様々な質問に対応するための準備時間を確保できるように配慮している。

朝日町は富山県の東端に位置しており、大学が多くある富山市からは電車や車で 1 時間程度かかるため、大学生学習支援員の確保が容易ではない。このことから、より多くの大学生学習支援員を確保するため交通費を支給している。

● 事業を実施しての効果・成果

生徒一人一人が集中して各自の課題に取り組む中で、疑問があれば適宜学習支援員の助言を受けることができるため、自分のペースで学習を進めることができ、着実な学力の向上につながっている。また、同級生と一緒に学習することで、互いに切磋琢磨し、共に受験に立ち向かう気運が醸成されている。

教員志望の大学生学習支援員にとっては、学習指導の経験を積むことができると共に、教員 OB の指導を間近で体感できるため、良い経験となっている。



大学生学習支援員による学習支援



教員 OB 学習支援員による学習支援

ポイント

教員志望の学生と教員 OB とが関わることで、生徒にとっては身近なモデルに出会える場となり、学生にとっては教員の大先輩の指導を間近で体験できる場ともなっています。世代間の好循環につながっていますね。